

車椅子の取扱い、非常時の応用方法を知っておきましょう



車椅子利用の利点

- 早足で移動できない
- 距離のある移動
- 手荷物を抱えた移動
- 地面がぬかるんでいる
ときに有利です

□ 非常時の移動は複数で支援しましょう

□ シートベルト(ひも)で固定、安全帽を着用しましょう

□ 障害物・段差、ぬかるみはキャスター(前輪)あげて通過しよう

- 大きい車輪だけで通過する、「後進(バック)」が良い場合もあります



□ 急な下り坂は後ろ向き(バック)で降りるのが安全です

- 乗っている人が前に落ちることを防げる
- 介助する人の手が汗や雨でハンドルが滑っても体で止めれる
- 介助する人は滑りにくい靴で、転倒にも気を付けましょう



□ 屋内や玄関の階段だって昇降できますよ

- 巾が広い階段は複数で抱えて昇り降りしましょう
- 狭い階段は下側から一・二手で支えましょう
- 人数が少ない時はロープ等を使いましょう



早めの行動、複数支援で安全に移動しましょう(裏面参照)

『命を守る』 早めの退避、率先避難をご近所で声かけあって

自力行動が難しい方へ

早めに行動をしましょう

土砂や洪水の警戒区域に住む方で、退避に時間がかかる人は早めに安全行動をしましょう

援助してくださる方を決めておきましょう

自力で行動できない方は、家族が留守の時を想定して、普段からご近所で援助してくださる方をお願いしておきましょう

ためらわず安全な場所に退避しましょう

避難場所で周りの方に迷惑をかけたくない、トイレなどが使いづらいなどで危険からの回避をためらわず、命を守るために安全な場所に退避しましょう

安全な知人宅に身を寄せることも

学校や公民館などの避難場所に退避が難しい方は、安全な親戚・知人宅、ホテルなどへ危険がなくなるまで事前に移動しておきましょう
その際、ご近所や支援者に移動先を知らせておきましょう

ご近所と顔見知りになりましょう

社会福祉協議会等が開くサロンや地域の行事に参加して、ご近所の方と顔見知りになっておきましょう

車椅子の取扱いに慣れておきましょう

退避行動を支援くださる方へ

声かけて一緒に退避しよう

避難準備情報が発令され、近所に自力で行動することが難しい方がいらしたら、声を掛け、一緒に退避をしましょう

退避行動は複数で支援しよう

退避行動の支援は周りの方々と協力して、できるだけ複数で行動しましょう

退避場所では譲り合いと支え合いを

避難場所のご近所活動の延長です
危険がなくなる一時の時間、お互いに譲り合い、支えあって、安全を確保しましょう

避難生活はお互いさまと思いやり

家が壊れたり、周囲が水没して日常生活が困難になった際は、生活避難所が変わる場合があります
その際は、病気や体調のすぐれない方は状況に応じて適切な場所を確保できるよう、避難生活を共にするみんなで思いやりの工夫をしましょう

退避ルートや退避場所を一緒に考えよう

安全な退避ルートや安全な一時避難場所を一緒に考えてあげましょう
雨天・夜間の移動も想定しましょう

車椅子の非常時応用方法を知っておきましょう(裏面参照)